

| | | | |
|--------|--|-----------|---------|
| 研究課題名 | 組織学的に診断されたアルコール性でない脂肪肝炎 (non-ASH steatohepatitis) の registry 研究 | | |
| 研究責任者名 | 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 | 消化器・代謝内科学 | 教授 茶山一彰 |
| 研究期間 | 2019年1月8日(倫理委員会承認後) ~ 2033年3月31日 | | |
| 対象者 | 1990年1月から2022年3月の間に、広島大学病院 消化器・代謝内科で肝生検を受けられた非ウイルス性慢性肝疾患の患者。 | | |
| 意義・目的 | 慢性肝疾患や肝がんのうち、肝炎ウイルスが原因ではない疾患が増加しており、非B非C慢性肝疾患・非B非C肝がんと呼ばれています。これらの疾患は、アルコールの他に、肥満や生活習慣病などが原因と考えられる脂肪肝炎と関連があると考えられていますが、正確なことは不明です。 | | |

れていません。今回、アルコール性ではない脂肪肝炎を多くの病院で登録し、脂肪肝炎と慢性肝疾患・肝がんとの関連を明らかにするため、この研究を計画しました。

方法

本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査（肝機能、腎機能、糖代謝、肝線維化マーカー、腫瘍マーカー、肝炎ウイルスマーカー）、アルコール摂取量、服薬内容、生活習慣病の有無、腹部エコー検査結果、肝生検病理組織検査結果です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

共同研究機関